

授業科目名	教 育 学			担当教員	川口 俊明	
開講年次	2 年前期	セメスター	3		時間数(単位数)	30 (2)
必修選択	選択	授業形態	講義		使用教室	
授業の目的	人間の生涯発達という視点から人間の成長・発達を理解し、教育の果たす役割について学ぶ。					
到達目標	(1) 教育学の基礎的な知識／考え方を習得する。 (2) 現代日本の学校・教育の在り方について、批判的に考えることができる。					
ディプロマポリシーにおける科目の位置づけ	「1. 人間の尊厳と権利を擁護する力」に関わり、教育に関する教養を培い、豊かな人間性を育むことができる。また、「4. 問題解決力」と関わり、人間に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。					
ディプロマポリシーとの関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力	
	○			◎		
授業計画						
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)		取組時間	担当者
1	授業内容と受講上の諸注意	講義	シラバスを読み、テキストを確認する(予習)		30 分	川口
2	教育の公共的意義	講義	テキスト(序)を読み、わからないところをまとめる(予習)		60 分	川口
3	何のために教育があるのか (集団討議)	講義 (AL)	テキスト(序)をもとに、「何のために教育があるのか」について自身の考えを書く(予習)		60 分	川口
4	社会変動と学校・家族	講義	テキスト(第1章)を読み、わからないところをまとめる(予習)		60 分	川口
5	大学教育はどうあるべきか (集団討議)	講義 (AL)	テキスト(第1章)をもとに、「大学教育はどうあるべきか」について自身の考えを書く(予習)		60 分	川口
6	学校と格差・不平等	講義	テキスト(第2章)を読み、わからないところをまとめる(予習)		60 分	川口
7	教育の格差と不平等 (集団討議)	講義 (AL)	テキスト(第2章)をもとに、「教育の格差と不平等」について自身の考えを書く(予習)		60 分	川口
8	教育政策とエビデンス	講義	テキスト(第3章)を読み、わからないところをまとめる(予習)		60 分	川口
9	エビデンスは必要なのか (集団討議)	講義 (AL)	テキスト(第3章)をもとに、「エビデンスは必要なのか」について自身の考えを書く(予習)		60 分	川口
10	教育の社会的貢献	講義	テキスト(第4章)を読み、わからないところをまとめる(予習)		60 分	川口
11	大学教育は役に立つのか (集団討議)	講義 (AL)	テキスト(第4章)をもとに、「大学教育は役に立つのか」について自身の考えを書く(予習)		60 分	川口

12	教育にできること、できないこと	講義	テキスト（第5章）を読み、わからないところをまとめる（予習）	60分	川口
13	学校教育に何を期待するか （集団討議）	講義 （AL）	テキスト（第5章）をもとに、「学校教育に何を期待するか」について自身の考えを書く（予習）	60分	川口
14	日本の公教育	講義	全体を通して、わからないところをまとめる（予習）	60分	川口
15	公教育に関して思うこと （集団討議）	講義 （AL）	全体を通して、自由なテーマで日本の公教育に関するレポートを書く（予習）	60分	川口
先行履修科目					
テキスト		中澤渉：日本の公教育，中公新書，2018.			
参考文献		授業中に紹介する。			
評価方法		課題の提出状況および質（80%） 発言や議論への参加など授業への貢献（20%） ※最終試験・レポートなどは課さない			